

## 東京国際空港（羽田空港）の新しい滑走路（D滑走路） ～ 海老取川入り口の航行安全用標識灯を改善 ～ トピックス

東京国際空港（羽田空港）の新しい滑走路（D滑走路）建設工事においては、工事海域（一般船舶の航行・進入を禁止する航泊禁止区域）を迂回する小型船舶の航行安全の向上を目的として、10月4日、羽田空港西側の外周にあたる多摩川と京浜運河を結ぶ「海老取川（えびとりがわ）」の多摩川側入り口に、小型船舶の夜間航行の安全確保、航路の明示及び浅瀬への乗り上げ防止等の目印として標識灯2基を設置しました。

この標識灯の設置後、施工業者の点検により、標識灯頂部にカワウやカモメが留まっていることが確認されました（写真参照）。このため、鳥の糞により、標識灯が汚れてしまうとともに、その劣化を防止するため、施工業者（京浜港湾工事株式会社）の創意工夫にて、標識灯頂部に三角錐（鳥が留まることを防止するキャップ）を取り付けました。

漁業関係者や通航する海事関係者からは、「良くわかっていいよ!」、「明るくて評判が良いよ」といった激励もいただいています。

（補足）

D滑走路建設工事においては、海上交通・工事の安全を確保することを目的に、多数の工事用作業船や運搬船等が航行する工事海域と一般船舶が航行する海域を区別するための「航泊禁止区域」を設定しています。このため、漁船等の小型船舶は、工事海域を迂回する必要がありますが、波浪や東京西航路を航行する大型船舶の影響を受けやすいことから、空港西側の外周にあたる海老取川（桁下高さ制限：A.P.+4.8m）の多摩川側入り口において、標識灯2基を設置しました。

海老取川の多摩川側入り口付近は、水深も浅く、航路も狭くかつ蛇行していることから、漁業・海事関係者から水深の確保と標識灯の設置が求められていましたが、昨年（平成19年）9月には、浚渫工事により多摩川入口付近の水深（A.P.-2.0m）を確保するとともに、安全看板等を設置しており、今回の標識灯の設置により、小型船舶の航行安全が大幅に向上しました。

事業者としては、D滑走路建設工事を最大限のスピードで進捗させるとともに、工事海域周辺を航行する小型船舶等の航行安全の向上に関しても、引き続き、努めていきたいと考えております。

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所 D滑走路プロジェクト推進室 竹田・木島  
東京都大田区羽田空港3-5-7 メンテナンスセンター・アネックス5F

電話：03-5756-6575 HP：<http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/haneda/index.html>

標識灯設置後、このように鳥類の留まり場になってしまっているのを頻繁に確認。このままでは糞などで汚れてしまうことや損傷の原因にもなりうる。

標識灯が無いときの目印  
だった竹竿群



鳥類が留まれないように三角錐を取り付けた。(施工請負業者が実施した工夫)

